

福岡市
水道水に関する意識調査

* 調査結果報告書 概要版 *

平成23年2月

福岡市水道局

目 次

I 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査項目	1
3. 対象者と調査方法	1
4. 回収結果	1
5. 報告書の見方	1
II 調査結果	2
1. 回答者属性	2
2. 水道水の水質について	3
(1) 安全性に対する考え	3
(2) 安心と思う理由	3
(3) 不安と思う理由	4
(4) 飲用に利用する水	5
(5) 飲用水の利用理由	5
3. 節水意識について	6
(1) 節水への取り組み	6
(2) 節水に心がけている理由	6
4. 福岡市の水源及び水源地域・流域の連携協力について	7
(1) 水源の多くを市域外に頼っていることの認知状況	7
(2) 森林保全活動や交流事業で参加したい(行ないたい)もの	7
5. 水道局の広報について	8
(1) 知りたい情報	8
6. 福岡市の水道行政について	9
(1) 水道行政の満足度	9
(2) 重点的に力を入れてほしい水道事業	10

I 調査概要

1. 調査目的

水に関する意識や行動及び多様化する市民ニーズを調査・分析することで今後の水道事業を進めていくための基礎資料とする。

また、前回（平成 18 年度）、前々回（平成 14 年度）の調査結果との経年比較を行い、傾向の変化を把握する。

2. 調査項目

- (1) 水道水について
- (2) 節水意識について
- (3) 貯水槽の管理について
- (4) 福岡市の水源及び水源地域・流域との連携協力について
- (5) 水道のお客さまセンターや各営業所について
- (6) 水道局の広報について
- (7) 福岡市の水道行政について

3. 対象者と調査方法

- | | |
|-----------|-----------------------------------|
| (1) 調査地域 | 福岡市全域 |
| (2) 調査対象者 | 福岡市内に居住する満 20 歳以上男女（外国人除く） |
| (3) 抽出方法 | 住民基本台帳より無作為抽出 |
| (4) 対象者数 | 3,000 人 |
| (5) 調査方法 | 郵送配布－郵送回収 |
| (6) 調査期間 | 平成 22 年 10 月 29 日（金）～11 月 12 日（金） |

4. 回収結果

有効回収数 1,847（回収率 61.6%）

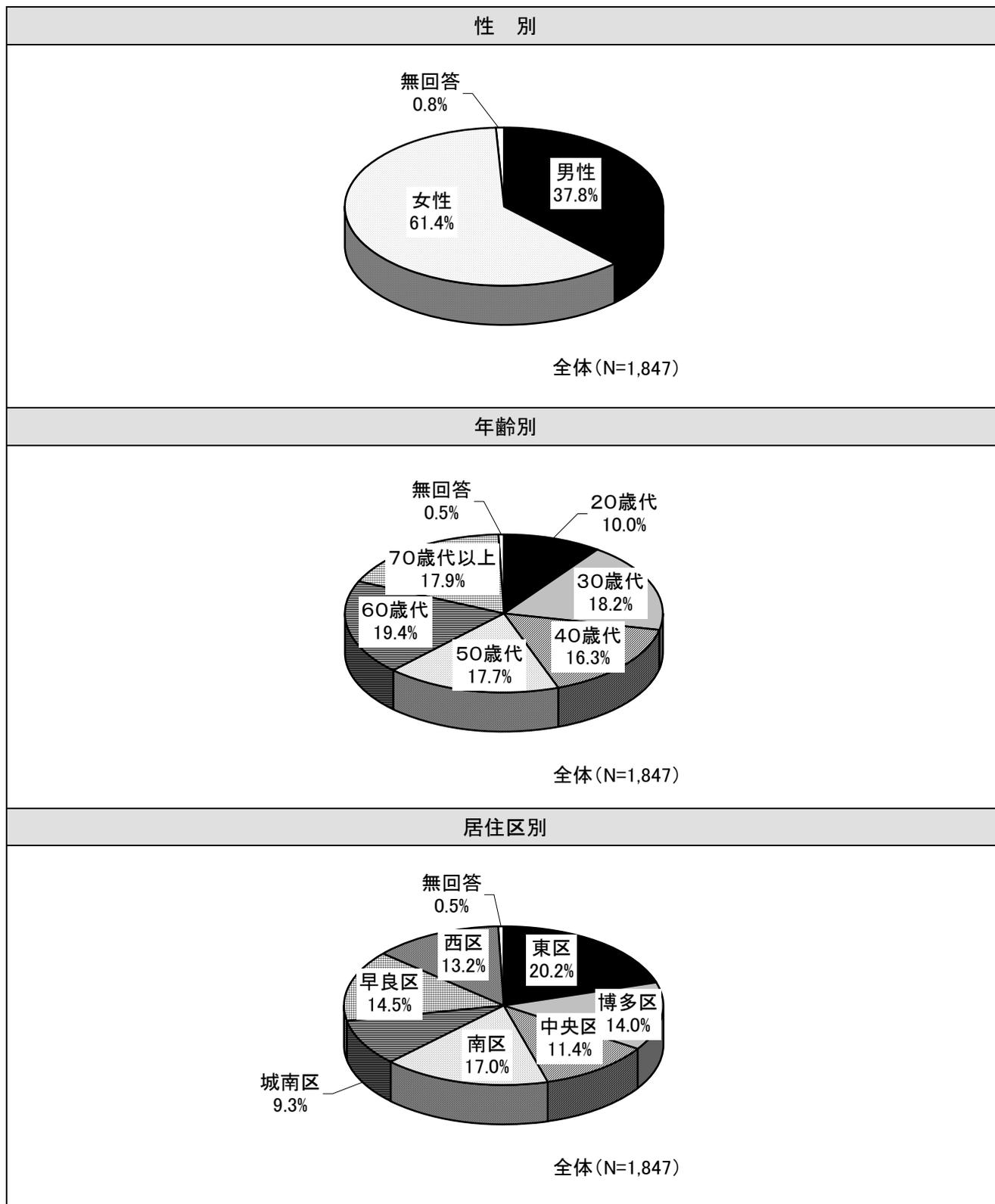
※前回（平成 18 年度）1,765（回収率 58.8%）、前々回（平成 14 年度）2,128（回収率 70.9%）

5. 報告書の見方

- (1) 前回、前々回の調査結果の記載がない質問は、今回調査での新規の質問である。
- (2) 集計は小数点以下第 2 位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも 100%になるとは限らない場合がある。
- (3) 2 つ以上の回答を要する質問（複数回答）の場合、その回答比率の合計は 100%を超える場合がある。
- (4) 数表、図表、文中に示す N は、比率算出上の基数（標本数）である。
N = 標本全数
n = 該当数（その質問を回答しなくてよい人を除いた数）
- (5) 数表、図表に示す選択肢はスペースの関係で文言を短縮して表記している場合がある。
- (6) 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち、2 つ以上のものを合計して表す場合などは『 』としている。
- (7) 2 つ以上の選択肢を合計して表している比率については、各選択肢の基数（標本数）の合計を基に算出しているため、選択肢個々の回答比率の合計とは、必ずしも同じにならない場合がある。
- (8) 属性別集計の場合、不明の回答者を除いた結果としている。

II 調査結果

1. 回答者属性

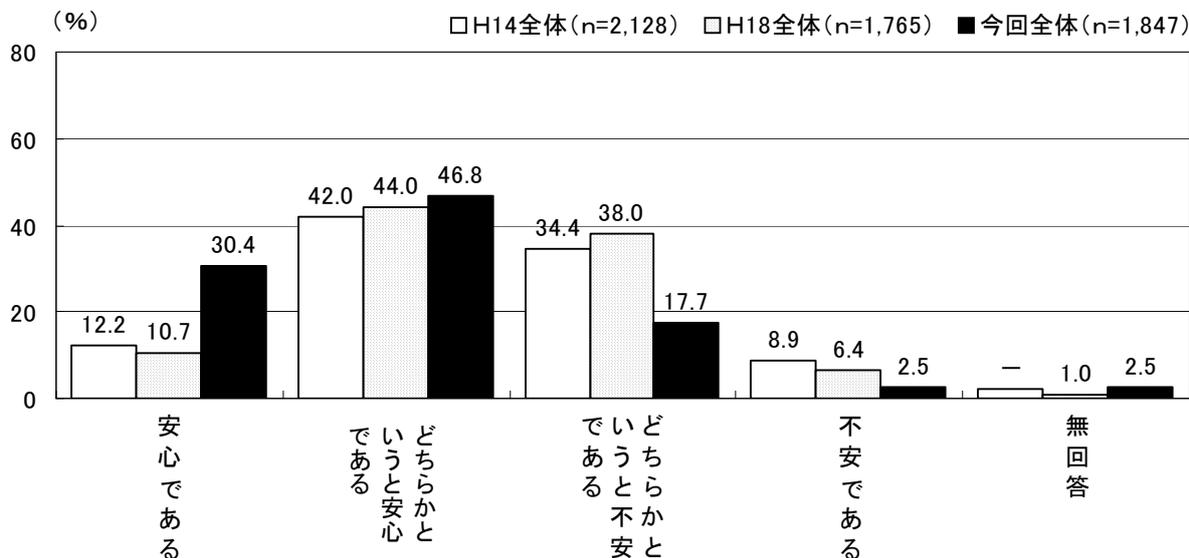


2. 水道水の水質について

(1) 安全性に対する考え

問1 福岡市の水道水の安全性について、次の中からあなたの考えに近いものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

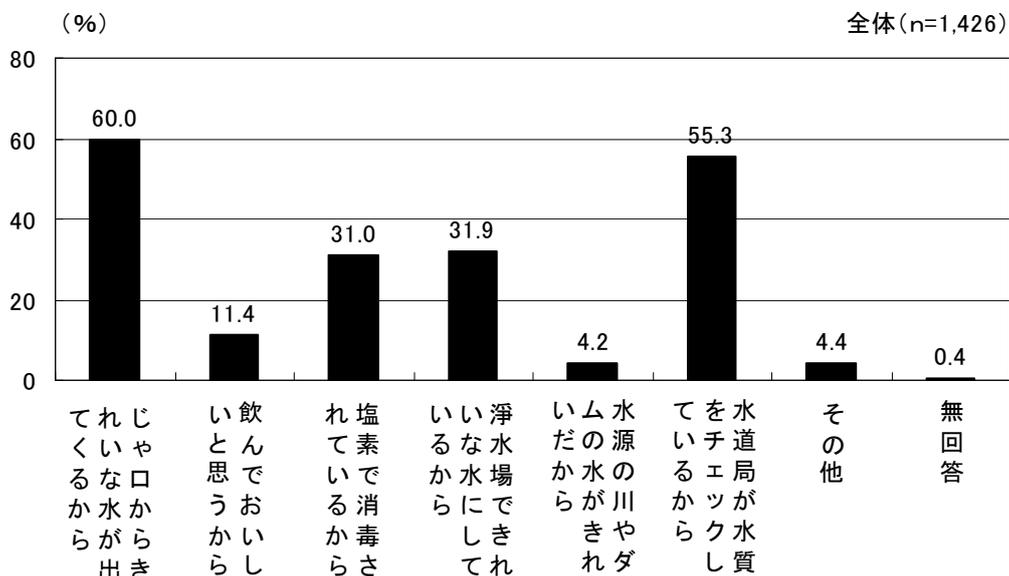
水道水の安全性については、「安心である」(30.4%)と「どちらかというと安心である」(46.8%)を合わせた『安心派』が77.2%を占めており、「不安である」(2.5%)と「どちらかというと不安である」(17.7%)を合わせた『不安派』(20.2%)を上回っている。前回の平成18年度の調査結果(『安心派』(54.7%)、『不安派』(44.4%))と比較すると、『安心派』は増加し、『不安派』は減少している。



(2) 安心と思う理由

【問1で「1. 安心である」「2. どちらかというと安心である」と回答した方におたずねします。】
 問1-1 あなたが安心と思う理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(複数回答可)

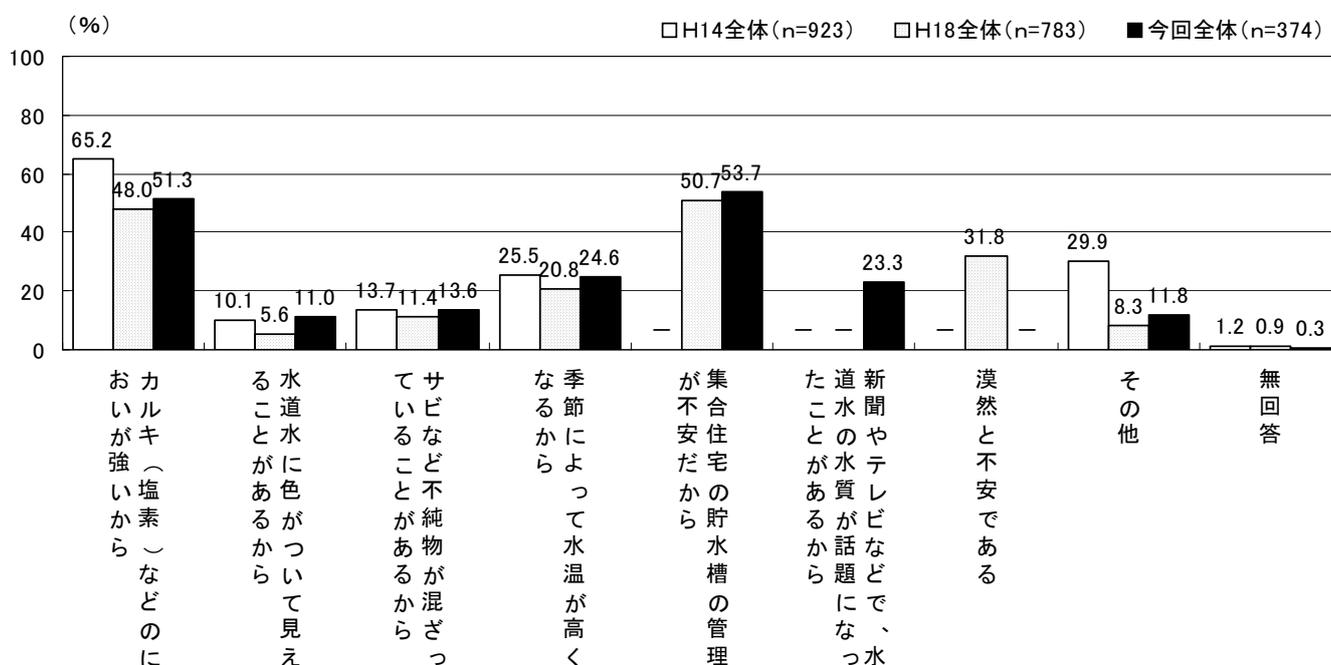
水道水の安全性に安心と回答した1,426名にその理由を尋ねたところ、「じゃ口からきれいな水が出てくるから」が60.0%で最も多く、次いで「水道局が水質をチェックしているから」(55.3%)の順となっている。また、全体の約3分の1にあたる人は、「浄水場できれいな水にしているから」、「塩素で消毒されているから」を安心の理由に挙げている。



(3) 不安と思う理由

【問1で「3. どちらかという不安である」「4. 不安である」と回答した方におたずねします。】
 問1-2 あなたが不安と思う理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(複数回答可)

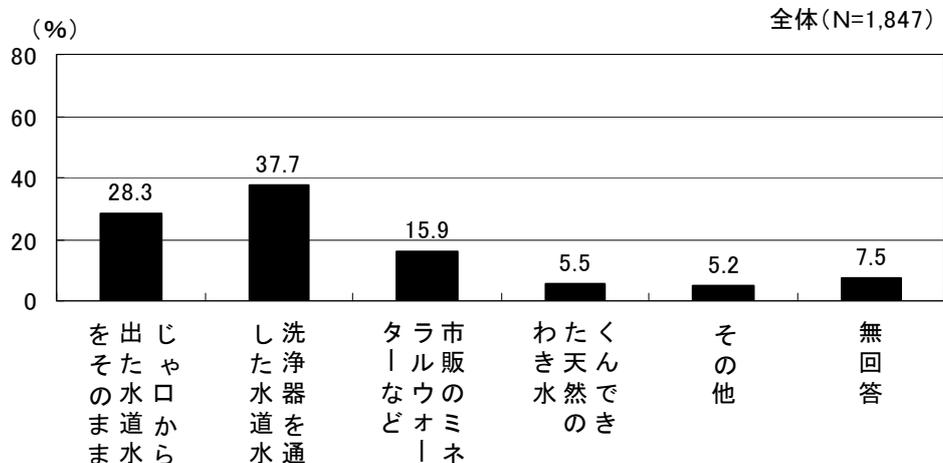
水道水の安全性に不安と回答した 374 名にその理由を尋ねたところ、「集合住宅の貯水槽の管理が不安だから」が 53.7%で最も多く、次いで「カルキ（塩素）などのおいが強いから」（51.3%）の順となっている。前回の平成 18 年度の調査結果では、水道水の安全性に不安と回答した人の理由は「集合住宅の貯水槽の管理が不安だから」（50.7%）、「カルキ（塩素）などのおいが強いから」（48.0%）が上位にきており、今回も同様の傾向が見られた。



(4) 飲用に利用する水

問6 あなたはご家庭で飲用の水に主に何を使っていますか。(飲用の水とは、直接飲む水やお茶・コーヒー・紅茶などに使う水です。)次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

家庭での飲用に利用する水としては、「浄水器を通した水道水」が37.7%で最も多く、次いで「じゃ口から出た水道水をそのまま」(28.3%)となっている。「じゃ口から出た水道水をそのまま」と「浄水器を通した水道水」をあわせると水道水を飲用する人は66.0%となる。



(5) 飲用水の利用理由

問7 問6で選んだ水を飲用する理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(複数回答可)

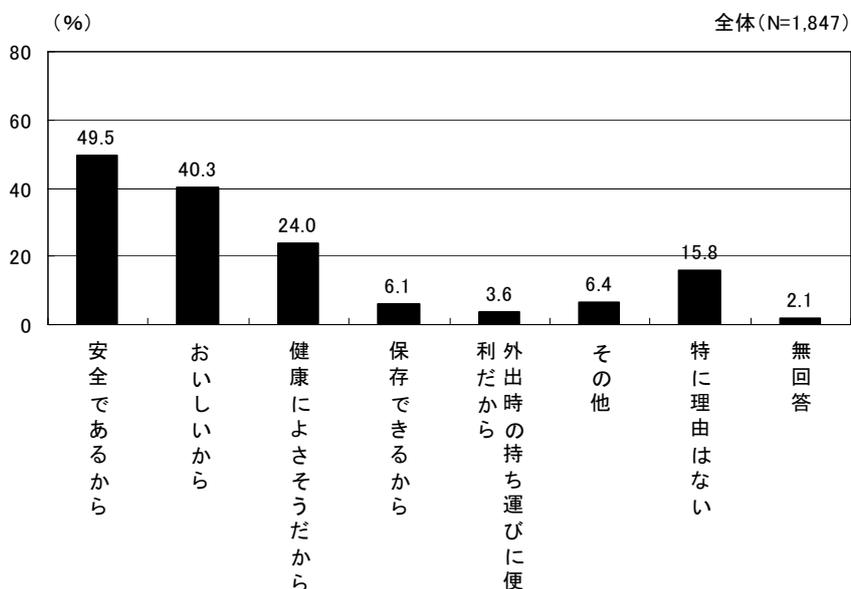
問6で選んだ水を飲用する理由としては、「安全であるから」(49.5%)が最も多く、次いで「おいしいから」(40.3%)となっている。

飲用する水ごとにその利用理由を集計したところ、「じゃ口から出た水道水をそのまま」と答えた522名では、「安全であるから」が52.1%で最も多く、次いで「特に理由はない」(39.1%)の順となっている。

「浄水器を通した水道水」と答えた696名では、「安全であるから」が51.0%と最も多く、次いで「おいしいから」(49.7%)、「健康によさそうだから」(32.6%)の順となっている。

「市販のミネラルウォーターなど」と答えた293名では、「おいしいから」が62.1%と最も多く、次いで「安全であるから」(52.2%)、「健康によさそうだから」(33.8%)、「保存できるから」(15.7%)の順となっている。

「くんできた天然のわき水」と答えた102名では、「おいしいから」が78.4%と最も多く、次いで「健康によさそうだから」(42.2%)、「安全であるから」(19.6%)の順となっている。

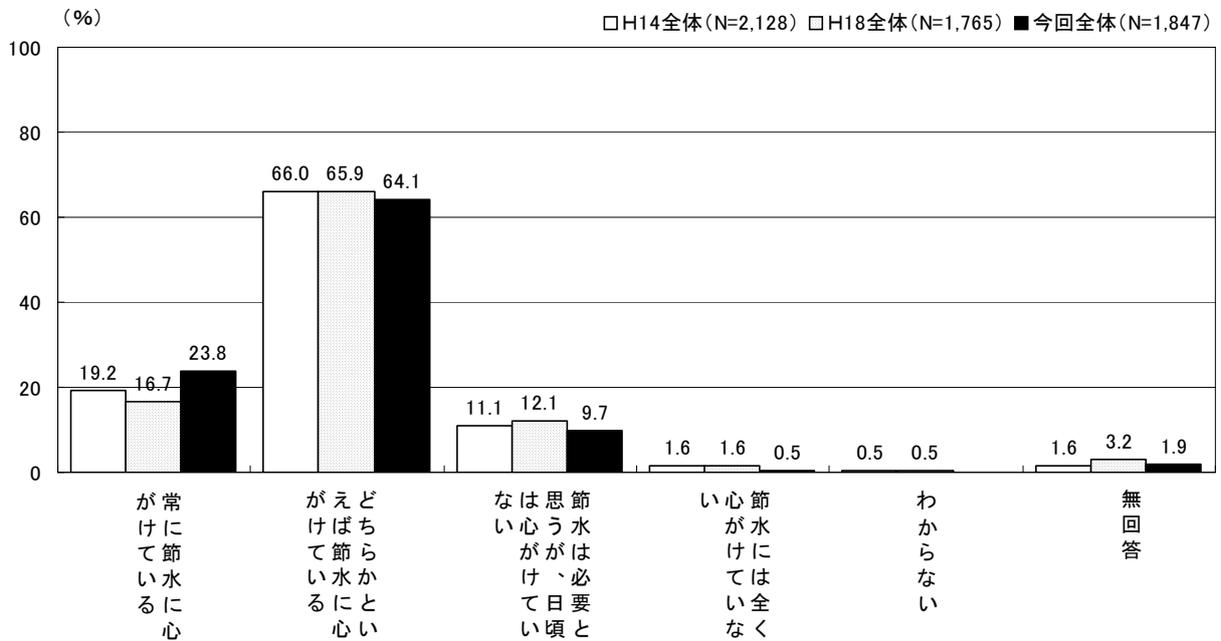


3. 節水意識について

(1) 節水への取り組み

問8 あなたは、節水についてどのような意識をお持ちですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

節水への取り組みをみると、「常に節水に心がけている」と「どちらかといえば節水に心がけている」を合わせた『実施派』が9割弱を占め、節水意識は高い。前回、前々回調査と比較すると、わずかながら『実施派』が増加している。

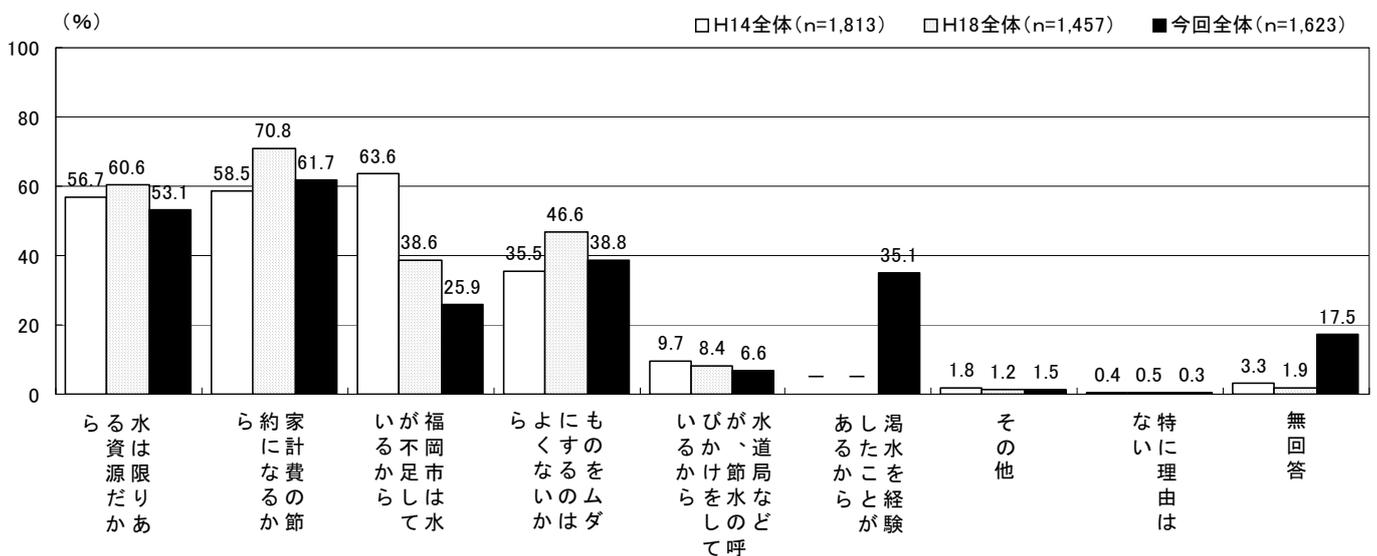


(2) 節水に心がけている理由

【問8で「1. 常に節水に心がけている」「2. どちらかといえば節水に心がけている」と回答した方におたずねします。】

問8-1 あなたが、節水に心がけている理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(複数回答可)

節水に心がけている理由としては、「家計費の節約になるから」が61.7%で最も多く、次いで「水は限りある資源だから」(53.1%)が続いている。前回、前々回調査と比較すると、「その他」以外の項目はすべて減少し、今回加えた項目の「喝水を経験したことがあるから」が35.1%となっている。

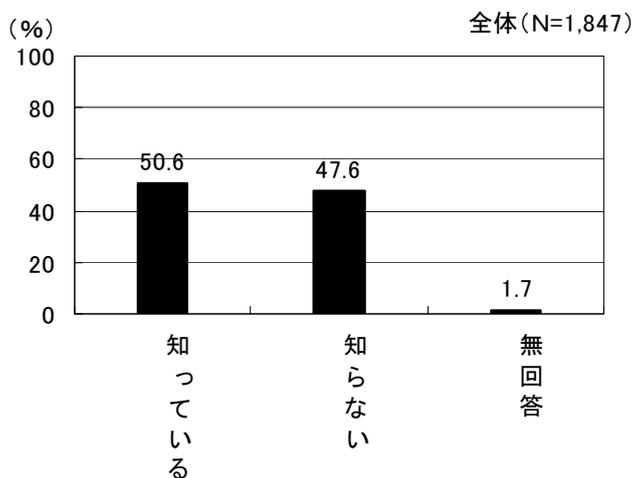


4. 福岡市の水源及び水源地域・流域との連携協力について

(1) 水源の多くを市域外に頼っていることの認知状況

問10 あなたは、本市で使用している水のおよそ3分の1を、市域外の筑後川からの導水などに頼っていることをご存知ですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

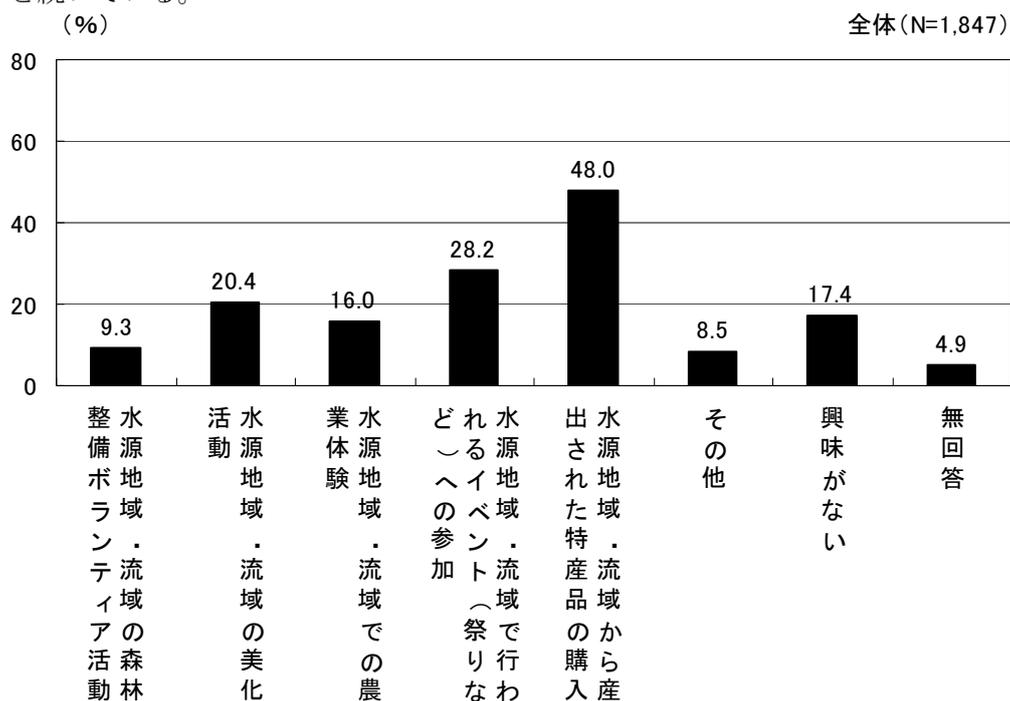
水源の約3分の1を、筑後川などに頼っていることについては、過半数の認知状況となっている。



(2) 森林保全活動や交流事業で参加したい（行いたい）もの

問13 森林の保全活動や水源地域・流域の方々との交流事業などで、あなたが、具体的に参加したい（行いたい）と思うものはどれですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。（複数回答可）

森林保全活動や交流事業で参加したい（行いたい）ものでは、「水源地域・流域から産出された特産品の購入」が48.0%で最も多く、次いで「水源地域・流域で行われるイベント（祭りなど）への参加」（28.2%）と続いている。

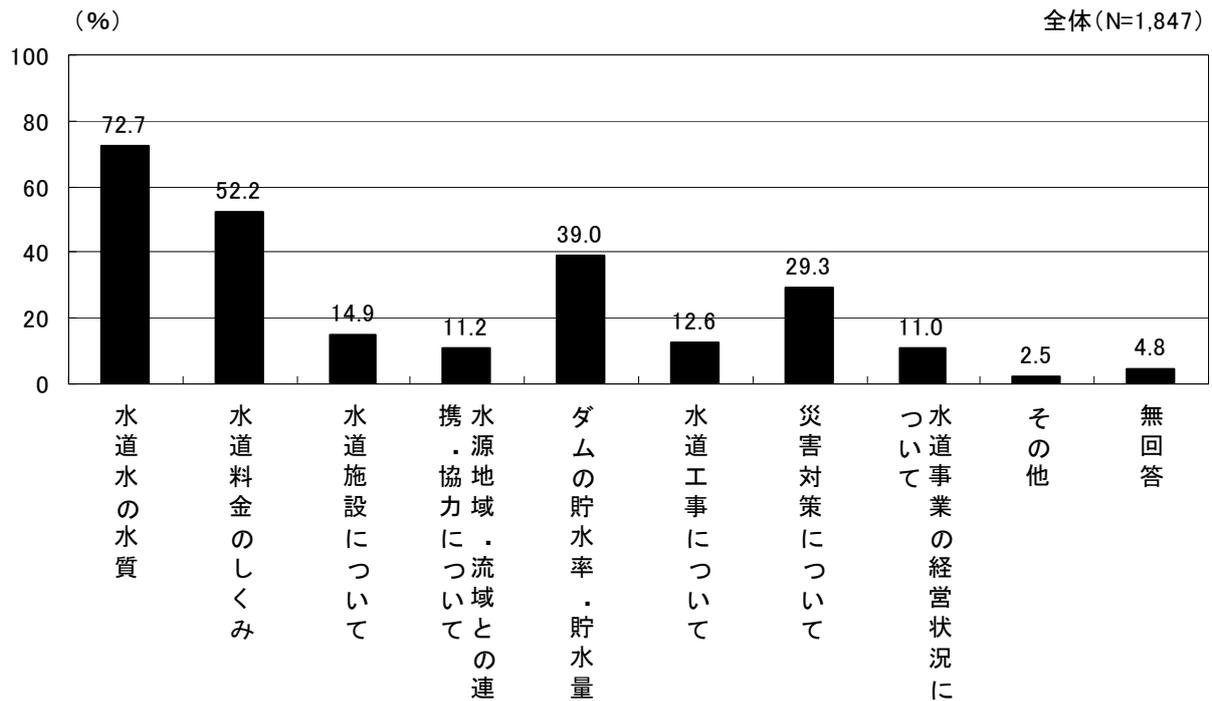


5. 水道局の広報について

(1) 知りたい情報

問15 水道に関する情報について、あなたが、特にお知りになりたい情報は何か。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(複数回答可)

水道に関係することで、特に知りたい情報は、「水道水の水質」が72.7%で最も多く、次いで「水道料金のしくみ」(52.2%)、「ダムの貯水率・貯水量」(39.0%)が続いている。

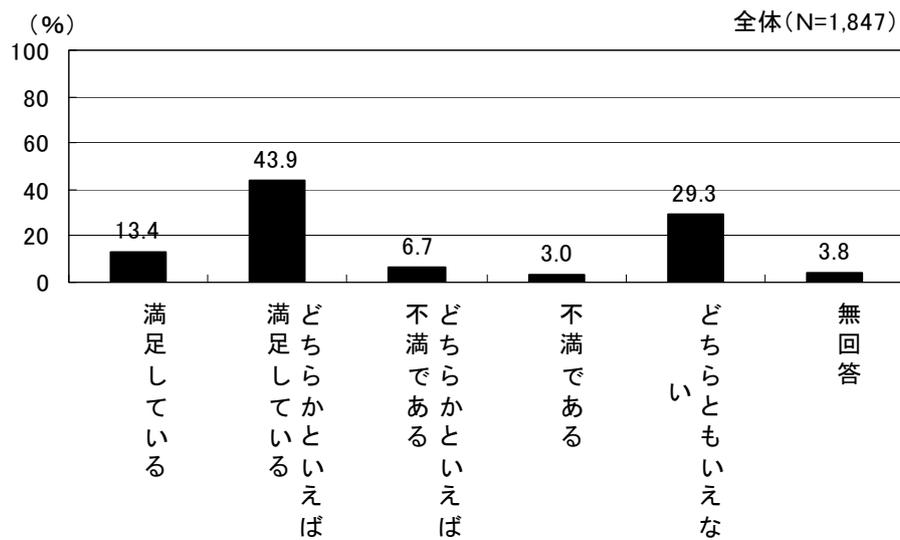


6. 福岡市の水道行政について

(1) 水道行政の満足度

問19 あなたは、現在の水道行政に満足していますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

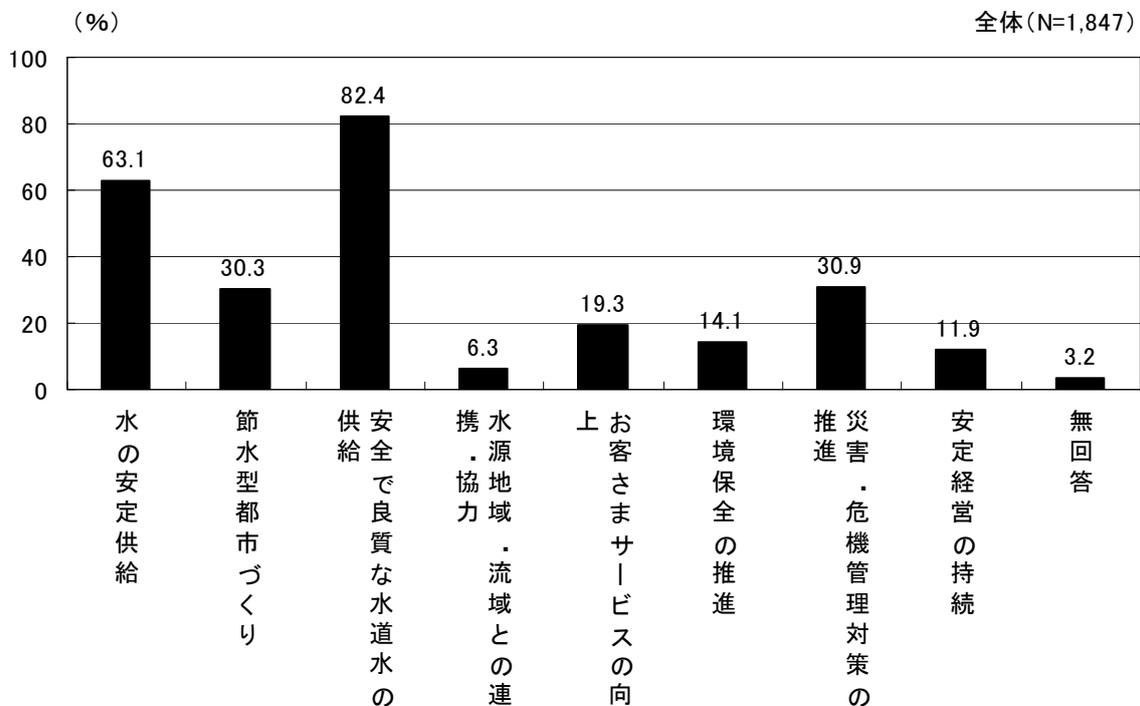
現在の水道行政の満足度をみると、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足派』が過半数を占めている。



(2) 重点的に力を入れてほしい水道事業

問20 あなたが、福岡市の水道行政について、今後、重点的に力を入れてほしいものは何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

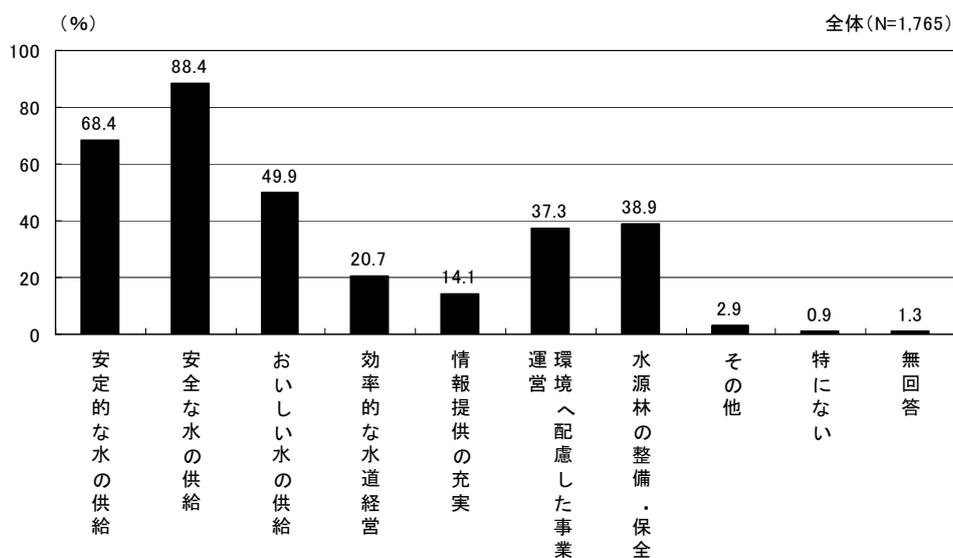
今後、重点的に力を入れてほしい福岡市の水道事業は、「安全で良質な水道水の供給」が82.4%で最も多く、次いで「水の安定供給」(63.1%)、「災害・危機管理対策の推進」(30.9%)が続いている。



(参考：平成18年度福岡市水に関する意識調査)

【問】福岡市の水道行政について、今後、重点的に力を入れてほしいものは何ですか。

(4つまで回答可)



平成 22 年度
福岡市水道水に関する意識調査 調査結果報告書 概要版

平成 23 年 2 月発行

発行 福岡市水道局総務課
福岡市博多区博多駅前一丁目 28-15
TEL (092) 483-3139
FAX (092) 482-1376
E-mail : somu.WB@city.fukuoka.lg.jp